様式３（2020.06改）

作成日　令和3年3月29日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2397400017
事業所名	グループホームいせ木

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	コロナ禍により、地域行事は中止となり、ホームの外出制限と重なって、ほとんど外部との交流はできない状況が続いている。ホーム別棟に設置している「地域交流センター」を、地域のサークル等が利用していたが、昨年の緊急事態宣言以来、ホームがセンターを開放していても、先方からの自粛が相次いでいる。終息後の再開が待たれる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	緊急事態宣言の明けた昨年7月･9月は会議を開催し、状況を見ながら、以降は運営報告を基に、書面開催としている。開催方法は市からの書面通達に従い、運用している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議には、市の担当者と地域包括支援センターの出席があり、ホームの実情理解を進めている。地域包括支援センターとは利用者紹介や相談等での連携があり、利用者入居後もアフターフォローで連携している。 市の担当部署とは、ホーム運営に係る相談･報告を通じ、適切に助言･指導を仰いでいる。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	今年度は、特にコロナ禍におけるホームの対応･対策について、意見や希望が寄せられている。ホームの方針については、早期に書面や電話で連絡し、理解を進めるとともに、家族からの意見や希望を聴取している。緊急事態宣言中は、オンライン面会を実施し、解除後は、別棟の地域交流センターでの短時間面会を実施する等、意見や希望を反映させている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

緊急事態宣言の明けた昨年7月・9月は会議を開催し、状況を見ながら、以降は運営報告を基に、書面開催としている。開催方法は、市からの書面通達に従い、運用している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										